

<事例> 学習することを拒み、継続した学習を行うことができず、学習が身につかない児童への支援について（ICTの有効活用も含めて）

【背景・要因等】

【支援策】

自信がない

- ・自己肯定感が低い。
- ・自信がない。
- ・周りを気にしている。
- ・「どうせできない」と思ってしまった。
- ・間違うのが恥ずかしいから、やらない。
- ・自分ができない事や苦手な事を見られるのが嫌だ。
- ・これまでの学習場面での失敗が積み重なって意欲がわからない。
- ・失敗が怖い。
- ・プライドが高い。

- ・褒められる場面を増やす。
- ・自己肯定感を高めるかかわりや言葉かけ。
- ・「やっぱり頼りになるね」と担当がリスペクトする。
- ・授業に得意なことを取り入れる。
- ・得意なことを話題にしたり、みんなの前で褒めたりする。
- ・「できた」自己評価も他己評価も見える化する。
- ・確実にできる仕事→毎日取り組む→褒める、のサイクル。
- ・ほかの子からの対象児の評価が上がるような場面を。
- ・個別学習だけでなく生活単元学習などで、学級で活躍できる場を作る。

障がい特性

- ・周囲が気になる。
- ・失敗したところを見られたくない。
- ・じっとしていられない特性。
- ・学習障がいか？文字は書けているか？読めているか？
- ・周囲が気になるから、先生と一緒に勉強している他の子がうらやましい。
- ・友だちに負けたくない。

- ・時間を短くする。
- ・情報量の精選（視覚優位、聴覚優位）
- ・今日の授業のめあてを具体的に伝える。
- ・ルールを子どもと相談して決める。→称賛
- ・集中できるスペースの確保。他の子と学習スペースを離す。
- ・パーテーションや机の向きなど他児との視界を区切る。
- ・仕切り、パネル、タイマー、順番表、ルールの掲示など、本人の特性に合う工夫を探り試してみる。

学習面の課題

- ・勉強が難しい。
- ・学力が身につけていない。
- ・どこが分からないか、自分でも分からない。
- ・学習のルールが分からない。
- ・学習より楽しいことをしたい。
- ・先生が提示したものよりも他にしたいことがある。
- ・内容がつまらない。

- ・学習のルールを確認する。（筆箱はしまう、鉛筆2本など）
- ・1時間の学習の流れが分かるよう視覚化する。
- ・達成可能な課題に取り組みせ、→称賛→自信につなげる。
- ・対象児にとって簡単な課題を用意してたくさんほめる。欲張らない。
- ・1時間1課題、1枚1問などでたくさん枚数をこなす。→視覚的に頑張りがファイルの厚みで分かる。
- ・下学年対応と分からないようなプリントの工夫。他児より簡単だとプライドが傷つく。
- ・具体物操作、学級みんなで取り組むような学習などプリント学習でない学習形態の工夫。
- ・学習後のご褒美の内容を一緒に考える。
- ・いろいろなやり方で褒める。（言葉で、ジェスチャーで、みんなの前で、絵に描いて視覚的に、他の先生に褒めてもらうなど）
- ・頑張ったポイントでシールを貯める。

自分だけを見て

- ・先生に自分だけを見てほしい。
- ・課題から逃げることで、先生が自分についてくれる。
- ・「やらない」という彼なりのコミュニケーション。
- ・「やらない」という思いを受け止めてくれる甘えられる人を求めている。
- ・「やらない」と先生をひとり占めできる。
- ・認められたり、称賛されたりした経験が乏しい。

- ・他児が交流に出かけた時に1対1でかかわる時間を作る。また甘えていい時間を作るから、頑張ろう。
- ・先生をひとり占めできる楽しい時間。ご褒美タイムの設定。
- ・周囲の先生方と協力して、心のゆとりがもてるような学習面以外での工夫。
- ・かかわり方にメリハリをつける。

※ICTの活用については、話し合いの時間が足りず、付箋を用いて意見を出し合いました。

学 習

- ・国語の漢字アプリや平仮名片仮名変換のサイトを使っての学習。
- ・音楽の歌唱では、Youtubeを流し、イラストを見て曲のイメージが持てるようにする。
- ・ダンス動画を見て踊る。
- ・制作活動の作り方を事前に写真や動画で保存し、実際の授業ではそれを見て見通しをもちながら制作できるようにする。
- ・体育の活動場面を撮影し、動きの確認や頑張りを評価する際に活用する。
- ・学習の中にアプリを取り入れる。

ご褒美

- ご褒美タイムで活用。
  - ・好きなキャラクターを調べ、思いを共有する。
  - ・ゲーム感覚でレベルが上がっていく学習アプリの活用
  - ・写真や動画を撮影し、一緒に見たり、加工したりする。
  - ・絵描き歌の動画を見ながらお絵描き。
  - ・ダンス動画を見ながら動いて楽しむ。

評 価

- ・1日の予定や、国語、算数の課題をエクセルなどの表にして、その都度自己評価していく。
  - 今日は、2校時は花丸、3校時は×だった。×の所、次はどうするか相談もできる。
- ・できた課題等や学習の様子を動画や写真で撮影し、友達に見てもらう。